

令和 7 年度

大学院音楽研究科

[修士課程]

学生募集要項 【後期 2 次】

[一 般 選 拔]

[特別選抜「社会人」・「留学生」]

＜個人情報の取り扱いについて＞

入学願書、受験票などの出願書類で収集の個人情報は、入学試験・入学に関する手続き、書類の発送、その他の連絡とこれらに付随する事項を行うために使用致します。第三者への開示は行わないことを厳守致します。

器楽表現コース

- ・ ピアノ領域
- ・ 管弦打領域

声楽表現コース

- ・ 声楽領域

作曲表現コース

- ・ 作曲領域

東邦音楽大学大学院音楽研究科（修士課程）は、21世紀の国際社会で知的リーダーシップを発揮できる、より高度な演奏表現を身に付けた演奏家並びに音楽の指導者を養成することを目的にしております。音楽研究科は音楽表現専攻の中に「器楽表現コース（ピアノ領域・管弦打領域）」、「声楽表現コース（声楽領域）」、「作曲表現コース（作曲領域）」を開設しております。

音楽研究科（音楽表現専攻）では、2年以上在学し、30単位以上を修得して修士論文の審査及び最終試験（修了演奏）に合格することが修了の要件になっていますが、器楽表現コース、声楽表現コースでは演奏表現に、作曲表現コースでは自作曲の発表に重きを置きます。

さらに、ウィーン（オーストリア）に滞在し、現地の音楽・様式・文化・歴史等をウィーンフィルハーモニー、ウィーン国立音楽大学等の教授陣から学び、高度な技術習得に努め、自らの演奏表現、知識の追求に磨きをかけることを目標にします。西洋音楽の基幹をなす、バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームス等の音楽が世代から世代へ直接受け継がれているウィーンにおいて、楽譜に書き込まれていない表現法や奏法等を体得することは、大きな自信に繋がるものと考えます。

また、2年間の課程において演奏する機会が数多くあり、「器楽表現コース」では室内楽・小編成のアンサンブル・歌曲の伴奏、「声楽表現コース」ではオペラ形式でのステージ、「作曲表現コース」では作品発表等、色々なステージを踏むことによって自分の演奏表現技術の向上に励みます。

指導に当たっては、現在第一線で活躍している演奏家達も交えて、熱意と情熱に溢れた教授陣が院生の演奏表現の向上を目指し、目標・方向性を見据え、本人の力量に見合った指導を熱意と愛情を込めて行います。

大学院修了者には『修士（音楽）』の学位が授与されます。また、高等学校並びに中学校教諭一種免許状（音楽）の既取得者は同専修免許状（音楽）を申請することができます。

大学院修了後は、ウィーンを拠点に演奏家活動への道を歩むための留学を志したり、国内において様々な形の音楽指導者あるいは教育職に就いたり、更にコンクールへ挑戦し、演奏家への道を歩んだり・・・と様々な分野での活動が広がっております。

国内海外に羽ばたく若き音楽家達の養成を目指す当大学院に、熱意ある学生諸君の入学を期待しております。

東邦音楽大学 大学院

大学院担当教員【令和6年度 現行】（敬称略・順不同）

*令和7年度は変更となる場合があります。

音楽研究科長 佐藤 泰弘

ピアノ領域	藤井 一興	秦 はるひ	小林 律子
	國谷 尊之	中島 裕紀	浦川 玲子
	太田 幸子	泉 玲子	

管弦打領域	フルート	益田 善太	ヴァイオリン	天満 敦子
		中村 明子		清水 高師
	オーボエ	松岡 裕雅		宮野 陽子
	クラリネット	磯部 周平	ヴィオラ	佐々木 真史
		松尾 賢一郎	チェロ	藤森 亮一
	ファゴット	浅野 高瑛	コントラバス	菅原 政彦
		馬込 勇	打楽器	河野 玲子
	サクソフォン	佐々木 雄二		久一 忠之
		平野 公崇		渡辺 由美子
	ホルン	澤 敦		
トランペット	小原 裕樹			
トロンボーン	吉川 武典			
ユーフォニアム	庄司 恵子			
チューバ	大塚 哲也			

声乐領域	佐藤 泰弘	片岡 啓子	山崎 明美	伊藤 和広
	武藤 直美	大槻 孝志	岩見 真佐子	

作曲領域	荻久保 和明	井上 淳司	難波 研
------	--------	-------	------

講義・演習科目	遠山 菜穂美	林 千尋	渡辺 恵	伊藤 制子
	上山 典子	田中 梢	櫻田 素子	蝦 真理子
	高島 理佐	十川 稔	宮松 重紀	

アドミッションポリシー

本研究科は、音楽に関する専攻分野における高い学識を有し、高度な専門的技術を備え、かつ情操豊かな人格者で国内外の第一線で活躍できる演奏家、指導者等を育成することを目的としている。この目的を達成するため、本研究科への入学者については、音楽系大学学部卒業者又は同等以上の演奏力、創造力、表現力及び研究能力を持ち、かつ、バランスの取れた豊かな人間性を備え、さらに、本研究科において、音楽に関する専攻分野について高度な技術や研究能力を高めることに強い意志を持ち、本研究科修了後に、演奏家、音楽家、音楽指導者、音楽教育者、音源制作者等として国内外で活躍する意欲のある者の入学を求める。

募集人数

音楽研究科（男女） 若干名

出願資格「一般選抜」

以下のいずれか1つを満たす者。

- 大学を卒業した者、および令和7年3月卒業見込みの者
- 大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者
- 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- 文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者
- その他、本大学院において、相当の年齢に達し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

出願資格 特別選抜「社会人」

- 大学を卒業した者、および令和7年3月卒業見込みの者
 - 大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者
 - 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 - 文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者
 - その他、大学院において、相当の年齢に達し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- _____ 以上のいずれか1つを満たし、下記を満たす者 _____
- 令和7年4月1日現在、満28歳以上の者

出願資格 特別選抜「留学生」

- 大学を卒業した者、および令和6年3月卒業見込みの者
 - 大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者
 - 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 - 我が国において、外国の大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校の課程を修了した者
 - 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - 文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者
 - その他、大学院において、相当の年齢に達し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- _____ 以上のいずれか1つを満たし、下記を満たす者 _____
- 日本語能力検定1級に合格した者、もしくは同等の日本語能力のある者と本大学院が認めた者

出願期間

願書受付期間 令和7年 2月12日（水） ～ 令和7年 2月21日（金）

出願書類

志願者は、下記書類を大学院 事務室に角型2号サイズ封筒（タテ332mm×ヨコ240mm）《速達書留》にて郵送してください。（提出された書類は返還しません。）

なお、提出にあたっては、出願・記入上の注意（P.5）を参照してください。

- (1) 願 書・・・・・・本学所定の用紙（様式1）
- (2) 誓 約 書・保 証 書・・・・・・本学所定の用紙（様式2）（留学生のみ提出してください）
- (3) 実 技 検 査 票・・・・・・本学所定の用紙（様式3）
- (4) 成 績 証 明 書・・・・・・出身大学長が証明し、厳封したもの。
[修得単位、評価並びに卒業又は卒業見込みが記載されたもの]
- (5) 受 験 票・・・・・・本学所定の用紙（様式4）
- (6) 受験票返送用封筒・・・・・・長形3号サイズ封筒（タテ235mm×ヨコ120mm）の封筒に志願者の住所・氏名を明記し、速達郵送料分の切手を貼付してください。

- (7) 入学検定料 [振込受付証明書]

45,000円

銀行窓口・ATMをご利用の上、お振り込みください。

振込人名義は、志願者本人とし、振り込み後の入学検定料は返還しません。

入学願書に振込控の添付が必要となります。（コピー可）

本学指定の振込用紙はありません。

注：インターネット・携帯電話を利用したの振り込みは受付できません。

検定料振込先

振込先	三井住友銀行 大塚支店
種目	普通
口座番号	700690
受取人	(学) 三室戸学園 ガク) ミムロドガクエン

- (8) 在留カードのコピー
または住民票(日本国・・・・・・) 留学生は提出が必要です。在留カードの場合は、表・裏の両面コピー(A4判)を提出してください。住民票の場合は、国籍・地域・在留資格・在留期間満了日が記載されたもの(出願3カ月以内に発行のもの)1通を提出してください。

出願書類提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚4丁目46番9号

東邦音楽大学大学院 事務室 庶務担当

TEL 03-3946-9667

窓口 受付時間：午前 9:00～12:00 / 午後 1:00～4:00（日曜・祝祭日を除く）

出願書類は折曲厳禁、郵送・窓口持参いずれの場合も、出願期間の最終日までに必着

選抜方法

大学院（修士課程）を履修するに相応しい能力と素質のある者について、領域別実技検査、外国語（特別選抜の場合は、小論文）、面接を実施し、これらの成績と併せて本学大学院志望理由や成績証明書などを総合判定して入学選抜を行います。

選抜試験会場

試 験 場・・・・・・東京都文京区大塚4丁目46番9号 文京キャンパス

集 合 時 間・・・・・・受験票ご送付時に同封致します別紙をご参照ください。

選抜試験科目「一般選抜」

領域別実技・・・P6～P7の課題欄を参照してください。

外国語・・・英語・ドイツ語・イタリア語より、1外国語選択（辞書持込可・電子辞書等持込不可）

面接・・・P6～P7の面接欄を参照してください。

選抜試験科目 特別選抜「社会人」・「留学生」

領域別実技・・・P6～P7の課題欄を参照してください。

小論文・・・当日テーマを指定します。800字～1000字（留学生のみ辞書持込可。ただし、電子辞書等持込不可）

面接・・・P6～P7の面接欄を参照してください。

選抜試験日程「一般選抜」

[後期2次]・・・令和7年 3月 2日（日）

領域別実技

- ・ピアノ領域・・・9:00より個別に集合時刻を指定
- ・管弦打領域・・・9:00より個別に集合時刻を指定
- ・声楽領域・・・9:00より個別に集合時刻を指定
- ・作曲領域・・・9:00より個別に集合時刻を指定

外国語・・・13:00～14:30

面接・・・外国語試験終了後 個別に集合時刻を指定 *領域別に個別面接を行います

選抜試験日程 特別選抜「社会人」・「留学生」

[後期2次]・・・令和7年 3月 2日（日）

領域別実技

- ・ピアノ領域・・・9:00より個別に集合時刻を指定
- ・管弦打領域・・・9:00より個別に集合時刻を指定
- ・声楽領域・・・9:00より個別に集合時刻を指定
- ・作曲領域・・・9:00より個別に集合時刻を指定

小論文・・・13:00～14:30

面接・・・小論文試験終了後、個別に集合時刻を指定 *領域別に個別面接を行います

選抜試験結果通知発送日

令和7年 3月 7日（金）

- ・ 受験者本人宛に選抜試験判定結果を郵送します。〔簡易書留・速達〕
- ・ 選抜結果の学内掲示は行いません。また電話、電子メール等による選抜結果の問い合わせには応じられません。
- ・ 合格者には、合格通知書及び入学手続書類を同封します。

入学手続

○ 合格者は、所定の入学手続期間内に学費を納入するとともに、指定の書類を提出してください。

- ① 誓 約 書 本学大学院の用紙
- ② 学 費 本学大学院よりの振込依頼書をご参照の上、お振り込みください。
- ③ 住民票もしくはそれにかわるもの。志願者本人のもの（最近3ヶ月以内に交付を受けたもの）・・・1通

○ 入学手続期間

令和7年 3月 8日（土）～令和8年 3月14日（金）

窓口受付 午前9時～正午・午後1時～午後3時

郵送の場合は期間内必着

- 入学手続きの詳細は、合格通知と同時に送付する書類等で通知いたします。
- 入学手続きを完了した者が入学を辞退する場合には、指定の入学辞退受付日に事由を明らかにし、所定の手続きをした者に、既納の納入金から入学金を除いた金額を返還します。

入学手続書類提出先 〒112-0012 東京都文京区大塚4丁目4番9号

東邦音楽大学大学院 事務室 教務学生担当

TEL 03-3946-9667

取得学位・資格

東邦音楽大学大学院 音楽研究科

■ 学 位 修士（音楽）

■ 資 格 中学校教諭専修免許状（音楽）
高等学校教諭専修免許状（音楽）

中学校教諭一種免許状（音楽）・高等学校教諭一種免許状（音楽）を取得している者に限り「教育職員免許法」の定めに従い、上記の上級免許状を取得することができます。（要教職課程受講費）

※【本大学院では、中学校教員一種免許状をすでに取得している者に限り、東京未来大学通信教育課程との提携により小学校教員免許および幼稚園教員免許取得を目指す制度があります。提携履修を許可された学生はこの制度を利用して、小学校教員普通免許状、または幼稚園教員普通免許状を取得することができます。（要課程履修費）】

学費

(令和6年度 現行)

費 目	令和6年度			令和7年度 2年次生
	入学手続き時	4月	9月	
入 学 金	200,000 円			
授 業 料	①全額納入			1,410,000 円
①全額納入される場合	1,410,000 円			
②分割納入される場合	②分割納入 705,000 円		②分割納入 705,000 円	
施 設 拡 充 費	200,000 円			300,000 円
ウィーン施設管理 維持費	200,000 円			
合 計	①全額納入 2,010,000 円			1,710,000 円
	②分割納入 1,305,000 円		②分割納入 705,000 円	

《注：令和7年度以降については、若干変更する場合があります。》

1. 入学金・施設拡充費およびウィーン施設管理維持費は、入学手続きの際に納入して頂きます。
2. 授業料は、年額納入を原則としておりますが、入学手続き時（2年次については4月）と9月の2回分納も可能です。
3. ウィーンアカデミー海外研修(必修)は、授業の一環として1年次に行います。
海外研修のための費用【渡航費（航空賃）・滞在費等】は、授業料の中に含まれています。
なお、燃油サーチャージ、出国税および個人的な費用は、負担して頂きます。
4. 学生教育研究災害傷害保険（学研災付帯賠償責任保険を含む）に全学生が加入することになっております。
保険料は、入学手続き時に2,430円（2ヵ年分）を納入して頂きます。
5. 学園では、「学校法人三室戸学園21世紀学園整備資金」事業として総合的に学園施設の整備計画を行っております。
保護者の皆様には、1口1万円のご寄付をお願いしています。（口数は任意でございますが、多くのご支援をお願いいたします）
なお、入学前のご寄付の募集は、行っておりません。
詳しくは、入学後送付します「趣意書」及び“21世紀学園整備資金『寄付金』についてのお願い”を一読ください。

▼履修を希望する方のみ

	入学初年度(年額)	2年次生(年額)	合計	備考
教職課程受講費	50,000	50,000	100,000	履修希望者は入学年度に一括納入

※小学校教員普通免許状および幼稚園普通免許状取得のため、通信教育課程を履修する場合は、別途課程履修費が必要です。

出願・記入上の注意

1. 文字は楷書で、数字は算用数字で、青又は黒インクを使用してください。（鉛筆は不可）
2. 誤字等を修正する際は、修正箇所を2重線を引き、訂正印を押してください。（修正ペン等の使用は不可）
3. 出願後の志望等変更はできません。
4. 領域欄は、受験領域名を記入してください。（管弦打領域受験生は楽器名を記入してください）
5. 現住所は、本学からの通知・連絡等が確実に届く場所を記入してください。
なお、変更が生じた時は、速やかに大学院事務室 庶務担当まで必ず届けてください。
6. 写真貼付の際、裏面に氏名・専攻実技を記入してください。
7. 保証人は、父母又は父母に代わるべき者で入学後身上の第一保証人となる者です。
8. 職歴がある方は、職歴欄も記入してください。
9. いずれの書類も※印は、記入不要です。

課題及び面接内容

【器楽表現コース】

○ピアノ領域・・・

●実技

(1) 下記の(a)～(d)の中から、3つの異なった時代区分の作品を演奏すること

合計演奏時間は25分以上

(a)バロック期 (b)古典期 (c)ロマン期 (d)近現代期

注)・演奏は暗譜

- ・演奏順序及び繰り返しの有無は自由
- ・試験当日演奏部分を指定することがある
- ・近現代期の作品に関しては、楽譜の提示を求める場合がある

(2) 本領域において、特に研究したい事柄について、日本語でA4判横書き800字以内の文章にまとめ、願書とともに提出すること (注：手書きの場合はペン書きのこと。鉛筆は不可。ワードソフト可)

●面接

上記(2)で提出された資料を参考として行う

○管弦打領域・・・

●実技

(1) 時代様式の異なった任意の独奏曲(ソナタを含む)を2曲演奏すること

2曲の合計演奏時間は、15分以上30分以内

注)・[弦楽器]の演奏は暗譜

- ・[管楽器][打楽器]の演奏は、楽譜を見てもよい
- ・試験当日演奏部分を指定することがある
- ・打楽器は、願書提出時に楽譜を提出すること(試験終了後返却)
- ・楽譜の出版社については、指定なし
- ・伴奏が必要な場合は、伴奏者を同伴すること(ピアノ伴奏に限る)
- ・コントラバス・打楽器・マリimbaについては、楽器を貸与する

(2) 本領域において、特に研究したい事柄について、日本語でA4判横書き800字以内の文章にまとめ、願書とともに提出すること (注：手書きの場合はペン書きのこと。鉛筆は不可。ワードソフト可)

●面接

上記(2)で提出された資料を参考として行う

【声楽表現コース】

○声楽領域・・・

●実技

(1) 下記の(a)～(c)の分野より各2曲、計6曲を選曲の上、曲目を提出すること

試験は、提出された(a)～(c)の各分野より、1曲ないし2曲当日指定する

(a)オペラ又はオラトリオの Aria (原調) (b)外国歌曲 (c)日本歌曲

注)・演奏は、原語で暗譜

- ・モーツァルトの演奏会用 Aria は、歌曲扱いとする
- ・試験当日、演奏部分を指定することがある
- また、途中でカットすることもある
- ・伴奏者を同伴すること

(2) 本領域において、特に研究したい事柄について、日本語でA4判横書き800字以内の文章にまとめ、願書とともに提出すること (注：手書きの場合はペン書きのこと。鉛筆は不可。ワードソフト可)

●面接

上記(2)で提出された資料を参考として行う

【 作曲表現コース 】

○ 作曲領域・・・

● 実技

(1) 下記の A・Bの中から、それぞれ1曲ずつ提出すること

A : ピアノ曲・声楽曲・室内楽曲

B : 吹奏楽曲・管弦楽曲

(2) 上記(1)で提出された作品に関する明確な意図を、日本語で1曲につき **A 4判横書き・800字以上1,200字以内**の文章にまとめ提出すること

(注：手書きの場合はペン書きのこと。鉛筆は不可。ワードソフト可)

(3) 上記(1)(2)で提出された作品及び文章について、口頭試問を行う

注)・作品及び文章は、願書とともに提出すること

・作品の楽譜サイズは、A3まで(コピー可)とする

・作品及び文章の表紙に【曲名】【氏名】のみを明記すること

・提出物は、2部提出のこと

● 面接

作曲全般に関する試問を行う

一般選抜・特別選抜 (下記該当欄に○をつけてください)		
一般選抜	社会人選抜	留学生選抜

令和7年度
入学願書
【後期2次】

※ 受験番号

東邦音楽大学大学院

志願者	フリガナ				性別	写真貼付欄 1. 3ヶ月以内に撮影のもの 2. 正面・上半身・脱帽 3. 縦4センチ×横3センチ	
	氏名						
	生年月日	年	月	日生	満歳		
	志望領域 (管弦打領域は 楽器名を記入)				〔一般選抜〕		
		外国語(○をつけてください)					
		英語	ドイツ語	イタリア語			
	フリガナ						
	現住所	〒	—	TEL		—	—
	受験中の 宿泊先	〒	—	TEL		—	—
	学歴	年 月 :		立	高等学校	科	卒業
年 月 :		大学	学部	学科	・ 卒業 ・ 卒業見込		
大学所在地		〒	—				
職歴	年 月 ~		年 月	名称 :			
	会社等所在地	〒	—				
保証人	フリガナ				生年月日	年 月 日生	
	氏名				続柄		
	現住所	〒	—	TEL		—	—
卒業後の希望							

※印は記入不要

(様式1)

写真は裏に氏名・志望領域を明記し、全面のりづけしてください。

音楽学修歴

師事歴

期 間				指導者名	楽器・科目
年	月	～	年	月	
年	月	～	年	月	
年	月	～	年	月	
年	月	～	年	月	
年	月	～	年	月	

演奏歴

演 奏 会 等 名 称	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

コンクール・セミナー等の参加歴

コ ン ク ー ル ・ セ ミ ナ ー 等 名 称	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

振込控貼付箇所

のりづけ

振込控の用紙はのりづけ
貼付箇所におさまらない場合、内側に折り畳む

令和7年度

〔特別選抜〕留学生

誓約書

【後期2次】

※ 受験番号

東邦音楽大学 大学院
学長 三室戸 東光 殿

私は、貴学大学院1年次へ入学を許可されました場合、貴学の諸規則に従い、芸術の本領に鑑み専心勉学に精励し、学生の本分を尽くします。万が一、上記に違背した時は、如何なる処分にも服しますことを保証人連署を以って誓約いたします。

フリガナ

受験志願者氏名

印

生年月日

年

月

日

〒

—

TEL

—

—

現住所

TEL

—

—

国籍

母国の住所

保証書

私は、2025年度外国人留学生の入学志願者の保証人として、上記学生が入学を許可された場合は、在学中の品行及び学費を私において保証いたします。

父母もしくは、父母に代わる第一保証人

フリガナ

保証人氏名

印

生年月日

年

月

日

(歳)

志願者との関係

〒

—

TEL

—

—

国籍

現住所

TEL

—

—

職業

勤務先

上記所在地

- 保証人は、原則として独立して生計を営む満25歳以上の保証人をさします。
- 保証人は、出願手続及び入学手続についてもその責任を負うものとします。

入学者選抜当日の在留資格

渡

日

年

月

日

年

月

日

在

留

期

間

年

月

日

～

年

月

日

(様式2)

令和 7 年度

一 般 選 抜 ・ 特 別 選 抜

(下記該当欄に○をつけてください)

一般選抜	社会人選抜	留学生選抜

実技検査票
【後期 2 次】

ピアノ領域

東邦音楽大学大学院

受験番号	※	氏名	フリガナ	性別

曲 名	作 曲 者	演奏時間

注) 演奏順に記入すること。

(様式 3)

令和7年度

一般選抜・特別選抜

(下記該当欄に○をつけてください)

一般選抜	社会人選抜	留学生選抜

実技検査票
【後期2次】

管弦打領域

東邦音楽大学大学院

受験番号	※	氏名	フリガナ	性別

楽器名

伴奏者氏名

	曲名	作曲者	編曲者	演奏時間
1				
2				

注) 演奏順に記入すること。

(様式3)

編曲者がある場合は、編曲者の欄に記入すること。

貸与楽器名

一 般 選 抜 ・ 特 別 選 抜
(下記該当欄に○をつけてください)

一般選拔	社会人選拔	留学生選拔

実技検査票

【後期2次】

声 楽 領 域

受験番号	※	氏名	フリガナ	性別

伴奏者氏名

課 題	作 曲 者	曲 名	演 奏 時 間
(a) オペラ又は オラトリオの アリア		オペラ より	
		オペラ より	
(b) 外国歌曲			
(c) 日本歌曲			

(様式 3)

作品番号がついているものは、曲名欄に記入すること。

令和 7 年度

一 般 選 抜 ・ 特 別 選 抜

(下記該当欄に○をつけてください)

一般選抜	社会人選抜	留学生選抜

実技検査票
【後期 2 次】

作 曲 領 域

東邦音楽大学大学院

受験番号	※	氏名	フリガナ	性 別

曲 名	編 成	演奏時間

(様式 3)

試験当日の注意事項

1. 受験生は、指定された時刻までに所定の試験場に入ってください。
2. 受験票は、常に携帯し、筆記試験場では机上に、領域別実技および面接の時は、係に提示してください。
3. 受験票を紛失あるいは忘れた時は、事務室 庶務受付にて再交付を受けてください。
4. 筆記用具（答案は黒HB鉛筆使用）を持参してください。貸借厳禁。
5. 多機能時計、電卓、電子辞書等の機器使用および持込は、一切禁止します。
6. 試験問題の内容に関する質問には、一切応じません。
7. 受験中、身体具合が悪くなった際は、監督者又は係に申し出てください。
8. 試験会場内には、定規・下敷き等筆答記述に疑いを持たれやすい物を持ち込まないでください。
9. 遺失物は、庶務受付にお問い合わせください。
10. 集合時刻は、厳守してください。万が一遅刻の恐れが出た場合は、
東邦音楽大学大学院 事務室 教務学生担当 TEL 03-3946-9667に必ず連絡をしてください。

-----キ リ ト リ-----

令和7年度

一般選抜・特別選抜

受 験 票 【後期2次】

東邦音楽大学大学院音楽研究科

受験番号	※					氏名	フリガナ			性別
一般選抜		社会人選抜		留学生選抜		[一般選抜]外国語			写真貼付欄 1. 3ヶ月以内に撮影のもの 2. 正面・上半身・脱帽 3. 縦4㍓ × 横3㍓	
						英語	ドイツ語	イタリア語		
志望領域		(管弦打領域は楽器名を記入)								

※印は記入不要

(様式4)

写真は裏面に氏名・志望領域を明記し、全面のりづけしてください。

入試種別、外国語は該当欄に○を記入してください。この受験票は、受験中常に携帯してください。